

神は弱いものを助けた

小川未明

青空文庫

あるところろに、きわめて仲なかの悪いわる百姓しやうがありました。

この仲なかの悪いわる甲こうと乙おつとは、なんとかして甲こうは乙おつを、乙おつは甲こうをうんとひどいめにあわしてやりたいと思おもっていました。けれど、なかなかそんなような機会きかいはこなかったのであります。

ある年としの夏なつの日ひのことでありました。幾いく日にちも幾いく日にちも、天気てんきばかりがつづいて、雨あめというものがすこしも降ふりませんでした。そして、諸所しよしよ方々ほうぼうの水みずが涸かれてしまつて、井戸いどの水みずまで日ひに少すくなくなるのであります。

甲の家の井戸は深くて、容易に水の尽きるようなことはありませんでしたけれど、乙の家の井戸はわりあい浅くて、もう水が尽きるのにもありませんでした。

甲は、そのことを知るとたいへんに喜びました。乙の野郎め、水がなくなってしまうたら、どうするだろう。水を飲まずに生きていられまい。そうすれば、きつとこの村からどこかへ逃げてゆか、俺のところへ頭を下げて、お願いにくるにちがいないと思いました。

乙は、だんだん井戸の水が少なくなるので、気が気でありませんでした。もしこの水がなくなってしまうたら、どうしようと思いませんでした。しかたがないから、どこかの清水のわき出るところを

探さなければならぬと思つて、乙は、その日から毎日、近所の山のふもとこころの心あたりを探たずねて歩あるきました。

十五、六丁ちよういたつた谷間たにまに、一つの清水しみずがありました。それが、この旱魃ひでりにも尽つきず、滾々こんこんとしてわき出でていました。これはい清水しみずを見つめたものだ。これさえあれば、もうだいじょうぶだと思つて、乙は喜おつんで家いえへ歸かえりました。

甲は、やはりその清水しみずのあるところを知しっていました。どうかして乙おつにわからなければいいがと思つていましたのが、どうやら乙の知しつたらしいようすなので、がっかりしました。

甲は、どうかして、その水みずを飲のめなくしてしまふように苦心くしんしたのであります。けれど、いい考かんえが浮うかびませんでした。その

うち、一つの考かんえが浮うかびました。甲こうは馬うまを引ひいて町まちへ出でかけてゆきました。

二

甲こうは町まちでたくさんの油あぶらを買かいました。それを馬うまに積つんで帰かえつてきました。甲こうは金かね持ちもでありましたから、もし金かねの力ちからで乙おつをいじめることができたら、いくらでも金かねを使つかう考かんえであつたのです。甲こうが馬うまに油あぶらだるをいくつも積つんで帰かえつてくる姿すがたを、乙おつは林やしの蔭かげでながめました。

「はてな、あんなにたくさんの油あぶらだるをなんで甲こうは仕し入いれてきた

ろう。」と、乙は考えました。

乙は、それとなく悟りましたから、すぐに家に帰って、おけを
 かついで清水へゆきました。そして、日が暮れるまで、せつせと
 幾十たびとなく、我が家へ水をくんでは運びました。そして、た
 るの中へ水をいっぱい入れました。

甲は日の暮れるのを待っていました。日が暮れると、馬を引
 て清水の辺へゆきました。そして、たるの中の油をすっかり清水
 の付近へ流してしまいました。甲は家へ帰ると世間へ聞こえるよ
 うな大きな声でいいました。

「馬がすべてで転んだものだから、買ってきた油をみんな流して
 しまった。」と、さも惜しそうにいました。

乙は明くる日、清水へいってみると、まるで油がわき出ているよう^ので飲めるどころでありません。はたして自分の思つたとおりであつたとうなずいて、家へ歸つて、水を大事に使つていました。甲は、毎日、もう乙の家の井戸水は尽きた時分だが、どうしているだろうと、ようすをうかがつていましたが、格別乙の家では困つているよう^なようすが見えませんでした。

「もつと早れ、早れ……。」と、甲は空を見ていいました。

「どうか降るように、どうか神さま雨の降るように願います。」と、乙は祈つていました。

すると、乙の貯えておいた水の尽きかかったころ、にわか^にに空^{そら}が曇つて大雨が降つてきました。そして一時に井戸には水が出

て、草木くさきが蘇よみがえ返りました。そればかりでない、清水しみずにまいた油あぶらはみんな田たの中なかに流ながれ出でて、清水しみずは、またもとのようにきれいに澄すみました。その年としは、いつにない豊ほうさく作であつたということです。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 2」講談社

1976（昭和51）年12月10日第1刷

1982（昭和57）年9月10日第7刷

初出：「読売新聞」

1920（大正9）年6月3～4日

※表題は底本では、「神《かみ》は弱《よわ》いものを助《たす》けた」となっています。

※初出時の表題は「神は弱い者を助けた」です。

入力：ぷろぼの青空工作員チーム入力班

校正：江村秀之

2013年10月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

神は弱いものを助けた

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>